

トヨタ ヤリス 環境仕様		6AA-MXPH10				6AA-MXPH15				5BA-MXPA10				5BA-KSP210		5BA-MXPA15			
車両型式																			
エンジン	総排気量 L	1,490				1,490				0.996				1,490					
駆動装置	駆動方式	前輪駆動方式				電気式4輪駆動方式				前輪駆動方式				4輪駆動方式					
	変速機	電気式無段変速機				CVT				6MT		CVT							
燃料消費率 	燃料消費率*1 (国土交通省審査値)	km/L	36.0	35.8	35.4	32.6	30.2	29.8	29.0	21.6	21.4	21.2	19.6	20.2	20.0	19.2	19.0	18.8	
	CO <sub>2</sub> 排出量	g/km	64	65	66	71	77	78	80	107	108	110	118	115	116	121	122	123	
	参考	*2020年度燃費基準*2をクリアしています。																	
排出ガス	認定レベルまたは適合規制 (国土交通省)	平成30年基準排出ガス75%低減レベル*3										平成30年基準排出ガス50%低減レベル*3							
	認定レベル値または適合規制値 CO/NMHC/NOx	g/km	1.15/0.025/0.013										1.15/0.05/0.025						
車外騒音	加速/定常/近接*4	dB	73(規制値)/-/73				73(規制値)/-/68				73(規制値)/-/78		73(規制値)/-/77		73(規制値)/-/76			73(規制値)/-/79	
冷媒の種類(GWP値*5)/使用量	g	HFO-1234yf(1*6)/450								HFO-1234yf(1*6)/350									
環境負荷 物質削減	鉛	自工会2006年自主目標達成(1996年比1/10以下*7)																	
	水銀	自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止*8)																	
	カドミウム	自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止)																	
	六価クロム	自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)																	
車室内VOC*9		自工会自主目標達成(厚生労働省室内濃度指針値*10以下)																	
リサイクル 関係	リサイクルし易い材料を使用した部品	バンパーカバー、インストルメントパネル、その他内装材																	
	植物素材の活用 ケナフ	パッケージトレイリム																	
	樹脂、ゴム部品への材料表示	あり																	
	リサイクル材の使用	ダッシュサイレンサー																	

\*1. 燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。 \*2. 省エネ法に基づき定められている燃費目標基準 \*3. WLTCモード走行  
\*4. 平成28年騒音規制 \*5. GWP: Global Warming Potential(地球温暖化係数) \*6. フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められております。  
\*7. 1996年乗用車の業界平均1,850g(バッテリーを除く)。 \*8. 交通安全の観点で使用する部品(ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスプレイランプ、室内蛍光灯)を除く。 \*9. VOC: Volatile Organic Compounds  
\*10. 厚生労働省が2002年1月に定めた指定物質で自動車に関する物質の指針値

# TOYOTA ENVIRONMENTAL CHALLENGE 2050



<https://global.toyota.jp/sustainability/esg/challenge2050/>

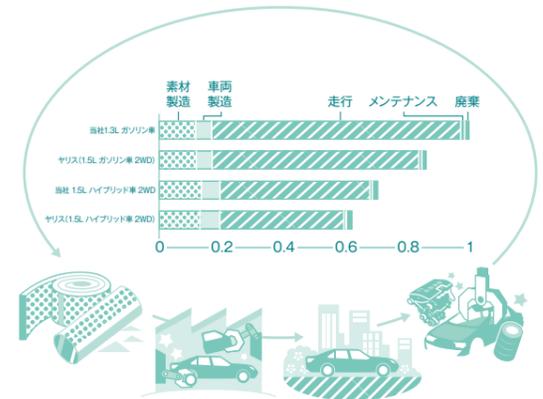
## 「人とクルマと自然が共生する社会」を目指して ～トヨタ環境チャレンジ2050～

トヨタは、温室効果ガスに起因する異常気象、生物多様性の喪失、水不足など、深刻化する地球環境の諸問題に対し、これまでも幅広い取り組みを推進してきました。今後もクルマの環境負荷をゼロに近づけるとともに、地球・社会にプラスとなる取り組みを通じて、持続可能な社会の実現に貢献するための6つのチャレンジ(ゼロへのチャレンジ  と、プラスへのチャレンジ ) を実施していきます。

## CO<sub>2</sub> “0” へのチャレンジ ～環境負荷をゼロに近づけるためのトヨタの取り組み～

### クルマの一生のCO<sub>2</sub>削減をデザインしています

### ライフサイクルCO<sub>2</sub>ゼロチャレンジ



トヨタでは燃費を良くするだけでなく、設計段階から、製造・廃棄・リサイクルにいたるクルマの一生を通して、CO<sub>2</sub>排出量を削減するための取り組みを行っています。

 LCA Method Certified  
トヨタでは、資源採取から廃棄・リサイクルまでの各段階を、クルマが環境に与える要因を定量的に総合評価する手法(LCA「ライフサイクルアセスメント」: Life Cycle Assessment)で評価し、自動車の生涯走行距離10万km(10年)で計算した場合の結果を指数で示しています。  
トヨタが乗用車を対象に実施しているLCAの手法は、ドイツの第三者認証機関テュフラインランドによるISO14040/14044規格に基づく審査・認証を受けました。

### 燃費の良いクルマを選ぶと、CO<sub>2</sub>の削減に協力できます

### 新車CO<sub>2</sub>ゼロチャレンジ



クルマは、燃費が良くなればなるほど、CO<sub>2</sub>の排出量を削減することができます。トヨタでは、燃費を向上させるために、あらゆる部品の軽量化や効率化を推進しています。

### エコカーだけでなく、エコ工場にも力を入れています

### 工場CO<sub>2</sub>ゼロチャレンジ



ヤリスをつくる工場では冬場に深い雪に覆われる環境の下、雪を夏まで貯蔵し、その雪解け水を工場や敷地内の建物の冷房に有効利用しています。生産段階においても、エネルギーを必要としない装置の活用や徹底した省エネ活動、設備の運転条件の見直しなど、様々な方向からCO<sub>2</sub>削減に取り組み、環境に負荷をかけないクルマづくりに努めています。

## 地球環境へ プラス “+”のチャレンジ ～より良い環境をつくるための トヨタの取り組み～

### 緑をつなぐ活動を ひろげていきます



### 人と自然が共生する 未来づくりへのチャレンジ

ヤリスをつくる工場では、近隣住民の方々や行政の方たちとコミュニケーションを図る場や植樹会を毎年設けるなど、地域や自然と調和する工場づくりを目指しています。従業員とその家族、地域の方々に参加した植樹会によって工場内に植えられた木は、累計3万1千本\*に達しました。様々な種類の樹木に囲まれた自然豊かな工場を目指して、森の再生活動に取り組んでいます。

\*2019年11月現在